

## 1. 茶炭製造への取り組み

当林業指導所管内の太子町頃藤地内に、茶道用の炭を製造・販売すること目的とする株式会社「雅堂」（取締役会長 石井保男氏）が本年1月に設立され、木炭の製造を始めました。

昨年12月には、福島県の塙町から89歳の指導者を招き炭窯の製作を始め、これまでに土窯1基とレンガ窯11基の計12基を制作し、3月からクヌギを炭材に使用した茶炭の製造に取り組んでいます。

同社では、一窯当たり4tのクヌギの炭材を使用し、茶炭を約700kg製造する計画で、年間では650tから700tのクヌギの炭材が必要となるため、今後、年間20万本程度のクヌギの植栽にも取り組むこととしております。また、今年には守谷市から8万本のクヌギの苗を購入し12haの伐採跡地（太子町、旧里美地内）の造林を計画しており、植栽に向け準備を進めています。

茶炭は、直径5cm～12cmまでのクヌギを使用するため、苗木を植えてから畑で5年、山で7～8年で伐採が可能となります。また、苗木は70cmで75円、1mで105円ほどするため、自らクヌギの育苗に取り組むことも考えているとのこと。

当林業指導所では、木炭の付加価値を高めるとともに、森林再生にも繋がる新たな取り組みとして今後も支援して行きたいと考えています。

（太子林業指導所 長山）



稼働中の炭窯



完成した茶炭

## 2. 小・中学校で「子どもの森」を整備

「子どもの森」は、児童・生徒の森林や自然への関心を深めるために、学校に環境教育に必要な学校林等の環境を整備するもので、森林湖沼環境税を活用し茨城県緑化推進機構が支援しています。

当林業指導所の林業普及指導員が整備の技術的な指導等を行い、管内の小・中学校3校に子どもの森が整備されたので紹介します。

(1) 茨城町立青葉中学校

11月26日(水)に、「青葉の森」の完成式典並びに緑の少年団結団式が開催されました。青葉中学校は平成26年4月に統合により開校した新設の中学校で、記念として本事業により「青葉の森」を整備しました。式典当日は雨天のため記念植樹は延期されましたが、後日、生徒たちといばらき緑の大使により記念植樹が行われました。



完成式典の様子(青葉中学校)

(2) 東海村立白方小学校

1月28日(水)に、いにしえガーデン「子どもの森づくり推進事業」記念式典が開催されました。白方小学校では、校庭に隣接するいにしえガーデンにベンチテーブルと柵を設置するとともに、いにしえガーデン内の樹木に名前プレートを設置しました。



記念撮影(白方小学校いにしえガーデン)

(3) 水戸市立城東小学校

2月5日(木)に、子どもの森づくり推進事業完成式典が開催されました。城東小学校では平成25年度に本事業により野鳥の森を整備し、本年度は野鳥の森内に間伐材を利用したベンチを設置しました。ベンチには児童によるペインティングが施され、式典の中でお披露目されました。



ベンチの披露(城東小学校)

子どもの森の整備により、森林環境教育や自然体験活動の環境が整備され、森林や自然への関心を持つ子どもたちが増えることが期待されます。

(水戸林業指導所 市村よし子)

### 3. 森林ボランティア養成講座が開催される

去る3月14日(土)、那珂市古徳の県有林内において、県央農林事務所の主催によるボランティア養成講座が開催されました。

当講座は、森林所有者や都市住民、ボランティア等を対象とした森林整備の体験活動

を行い、県民の自発的な森林ボランティアへの参加や団体の組織化を促進し、県民協働による森林づくりを推進することを目的として、各農林事務所が毎年持ち回りで開催しています。

今回は、間伐・下刈り体験として、地元の市民を始め県内外から44名が参加し、水戸林業指導所ほか県内の各農林事務所等から10名の職員が指導を行いました。

講座は、主催者等挨拶の後「森づくり講習」として当林業指導所の林業普及指導員が大鎌の使い方やノコギリによる伐倒方法についての説明を行い、その後、森林整備会場に移動しエンジュと少花粉スギコンテナ苗の記念植樹と間伐・下刈りの体験を行いました。

体験では、参加者が5班に分かれて、指導員の指導のもと、大鎌での刈り払いや、ノコギリを使った間伐では、ロープを使い伐倒方向を誘導するなど安全に作業を行い、約2時間の作業で、生い茂った篠笹が刈り払われ、また間伐により劣性木が除かれたことにより林内の環境が良くなりました。

参加者からは、「作業の前より林内がきれいになって、気持ちがいい。」「これからも機会があればこのような作業を続けていきたい。」「との感想が聞かれました。また、「森林内を整備することにより、イノシシの棲息環境を抑制できるのではないか。」「との声も聞かれました。

全ての作業が無事終了し、閉会後に参加者に昼食が配布されましたが、昼食をとりながらも作業中や今後の活動について話し合われ、和気あいあいとした中で解散となりました。

当林業指導所では、今後も森林整備に取り組むボランティアの活動を積極的に支援・指導していくこととしています。

(水戸林業指導所 清水)



林業普及指導員による作業方法の説明



林業普及指導員伐倒方法の説明

#### 4. 海岸防災林再生への取り組み — 「海岸防災林植樹祭」 —

去る2月2日（月）、東日本大震災で被災した海岸防災林の再生のための「海岸防災林

植樹祭」が、神栖市波崎の豊ヶ浜海岸において開催されました。

この取り組みは、いばらき森づくりサポートセンターの主催により、これまで管内においては、平成24年度に銚田市の玉田海岸、平成25年度に神栖市の谷田部海岸に続くもので、県や市長をはじめとする市の関係者、地元小・中学校の児童・生徒ら約800名が参加しました。

当日は、植樹作業に先立ち、林業普及指導員が苗木や植樹方法の説明を行った後、同市の神栖第四中学校と波崎第一中学校の生徒、波崎小学校と波崎西小学校の児童らが22班に分かれ、静砂垣が設置された約1,300㎡の敷地内に、クロマツやトベラなどの苗木約2,600本を移植ゴテを使って1本ずつ丁寧に植栽しました。

当林業指導所では、海岸防災林の機能の再生を図るための取組に対して、引き続き支援していきたいと思えます。

(銚田林業指導所 石井)



児童による植樹作業



植樹祭後の整備された海岸防災林